

令和7年度板橋グリーンカレッジ公開講座について

板橋グリーンカレッジは、区民の多種多様な学びの欲求に応えるために、令和6年度から年齢制限を撤廃し、多世代の方を対象として開校している。また、多世代化した板橋グリーンカレッジの周知を図ることを目的に「板橋グリーンカレッジ公開講座」を実施している。今年度の実施状況については、下記のとおりである。

記

1 実施概要

テーマ：地球科学～地球史・大地震を考える～

第1回 7月21日（月・祝）「太陽系と地球の形成過程」

第2回 7月27日（日）「化石からわかる生命の誕生と進化」

第3回 8月2日（土）「南海トラフ地震と防災」

講 師：東京都国際工科専門職大学 講師 石山 謙 氏

周知方法：広報いたばし、区ホームページ、生涯学習課インスタグラム、

区公式LINE、区施設及び図書館、無印良品（南町）へのチラシ配架

対 象：板橋区在住・在勤・在学の方

① 募集定員 100名

② 申込者数 92名（申込率：92%）

③ 参加人数 83名（出席率：90%）

申込者内訳

年代	申込者数
10歳未満	5人
10代	2人
30代	2人
40代	3人
50代	1人
60歳未満合計	13人
60代	28人
70代	30人
80代	8人
60歳以上合計	66人
年代不明	13人

2 アンケート結果

参加者数：83名

回答者数：62名（回収率：74.6%）

集計結果：別紙のとおり

令和7年度板橋グリーンカレッジ公開講座 アンケート集計結果

▼受講者数 83名
 ▼回答者数 62名
 (回収率 74.6%)

1. 本日の講義について、受講した感想をお聞かせください。

選択肢	ア とても満足	イ おおむね満足	ウ どちらともいえない	エ やや不満	オ 不満	合計	未回答
回答数	34	25	1	1	0	61	1
構成比 (%)	55.7%	41.0%	1.6%	1.6%	0.0%	100%	

<その理由>

ア とても満足

- ・私たちが生きている場所である地球について、たくさんのが学べたので。先生の明るいお人柄により、楽しく勉強することができました。時間があれば先生の学生時代の震災体験も聴きたかったです。余談ですが、写真より実物の方が好感が持てます。
- ・とても分かりやすく、系統だった話がより理解を深める一因になっていました
- ・物理は好きな学科であった。
- ・とても分かりやすい言葉で講義してくださり良く理解できました。
- ・3回の講義で全て新しい知識に接することが出来て満足しています。
- ・地球の事がより理解できた。
- ・パワポでのシンプルでわかりやすく、無駄なおしゃべりのない講義の基本的な姿でした。
- ・現在起きてる地球温暖化、地震の観点からタイムリーであった。
- ・講師の先生すごい。37歳若い。
- ・もう少し深い話を聞きたい場合の機会を知りたい。講座があればよい
- ・ほどほどにわかりやすく、専門的な知識をテーマに沿って学べたこと
- ・興味のある講義内容に答えてくれたので、感謝します。
- ・説明が非常にわかりやすかった。新しい知識が得られた。大変勉強になりました。
- ・わかりやすい説明でした。
- ・月の引力によって1年が365日になったことがおもしろい。
- ・講師のお話がとてもわかりやすく、毎回楽しみだった。
- ・大変わかりやすくおもしろかったです。ありがとうございました。
- ・地球物理学を中心に、最新の研究成果を映像を交えてわかりやすく説明板だけで満足。
- ・とても丁寧に説明していただき、理解しやすかった。
- ・とてもわかりやすく、1時間半があつという間に経っていました。多くの若い人たちにも興味を持っていただき、この分野の研究を進めてほしい。
- ・宇宙、地球環境、地震すべてに興味があり、先生の話し方が面白く、資料にも満足です。
- ・とても分かりやすくて、楽しく受講することができました。とくに3回目の地震については参考になりました。
- ・地震のことについて詳しく知れた。
- ・宇宙から化石、地質学に至るまで幅広く知ることができて、非常に満足しています。ありがとうございました。
- ・わからないことを知れたから。
- ・3個ともわかりやすく講義していただけた。面白かったです。

イ おおむね満足

- ・結構知らなかつたことが多く、参考になった。
- ・講師の話がとてもわかりやすい。
- ・話の内容がよかったです。
- ・テーマの内容が充実していました。
- ・わかりやすく丁寧な説明である。
- ・太陽系と地球の形成過程、きかんなど最新の観測結果を知ることができた。
- ・好きな内容を申し込み、期待していた内容の講義だった。一回休んだため「イ おおむね満足」
- ・公募の時に各回のサブタイトルを掲示いただけたよかったです。
- ・資料の写真をもっと大きくしてほしい。指示棒が正面のテレビにしか出ない。
- ・楽しかった。新しいことを知ることができた。
- ・地震発生のメカニズムがよく理解できた。
- ・宇宙の話に興味があり、おもしろかったです。
- ・もっと深く知りたい部分があった。資料の文字が小さくて読みにくいところがあった。
- ・子供も参加していたので、子供との知り合いができれば、講義の雰囲気がより温かいものになったと思います。

ウ どちらともいえない

- ・3回の講義では範囲が広すぎる

エ やや不満

- ・3回ともに時間が足りなくなつて、端折つて終了している。

2. 講座の実施時期についてご感想をお聞かせください。

選択肢	ア とても満足	イ おおむね満足	どちらともいえな	工 やや不満	オ 不満	合計
回答数	16	35	6	4	1	62
構成比 (%)	25.8%	56.5%	9.7%	6.5%	1.6%	100%

<その理由>

ア とても満足

- ・子供たちにも勉強する機会を与えることは大切だと思います。
- ・比較的時間が取れやすい。
- ・夏休みで自由研究などの候補としてできるから
- ・暑かったですが、夏休みの集中講義を思い出して楽しかったです。

イ おおむね満足

- ・子供達も受講できる時期に配慮されたように感じました。
- ・午前中の比較的涼しいときに行動できる。
- ・午前中に終了するため。
- ・土日・祝日の午前中というのが都合がよかったです。
- ・自分の空白期間にマッチした。
- ・今年はとにかく暑いので通うのが大変でした。
- ・グリーンカレッジ大学院の夏休み期間で都合がいい。
- ・3回とも参加できたので。
- ・できれば涼しい時期がよいかと
- ・2時間ぐらいでもいい。もっと聞きたかった。

ウ どちらともいえない

- ・今年だけかもしれません、とても暑かったので。
- ・サンディ毎日なので、いつでも良かった。
- ・暑い時期は外していただけると通いやすかったと思います。
- ・花火大会にダブってない方が良かった
- ・7~8月は猛暑で外出しにくいかも

工 やや不満

- ・休日ばかりの開催は厳しい。平日の開催がよい
- ・往復が熱い。
- ・夏の実施はちょっと暑すぎます。
- ・暑かったです。

オ 不満

- ・肝心の南海トラフ地震の話が短いので不満。

3. 今回の講座はどのように知りましたか？（複数回答可）

選択肢	ア 広報いたばし	イ 区ホームページ	ウ 区公式LINE	工 区内施設に掲示されたポスター・チラシ
回答数	31	8	5	25
構成比 (%)	43.1%	11.1%	6.9%	34.7%

選択肢	オ 知人の紹介	カ その他	合計
回答数	3	0	72
構成比 (%)	4.2%	0.0%	100%

「工 区内施設に掲示されたポスター・チラシ」における具体的な施設名

- ・グリーンカレッジホール 16件
- ・ふれあい館 1件
- ・高島平図書館 1件

4-1. 板橋グリーンカレッジを受講されたことはありますか？

選択肢	ア 現在受講中である	イ 過去に受講したことがある	ウ 受講したことがない	合計
回答数	36	10	16	62
構成比 (%)	58.1%	16.1%	25.8%	100%

4-2. 4-1で「ウ 受講したことがない」と回答した方のみご回答ください。板橋グリーンカレッジに通ってみたい、または興味はございますか？

選択肢	ア 通ってみたい	イ 興味がある	ウ 通わない、興味がない	合計	未回答
回答数	1	13	1	15	1
構成比 (%)	6.7%	86.7%	6.7%	100%	

5. 年齢はいくつですか？

選択肢	ア ~19歳	イ 20代	ウ 30代	工 40代	オ 50代	カ 60代	キ 70代	ク 80歳~	合計	未回答
回答数	2	0	0	1	2	26	19	9	59	3
構成比 (%)	3.4%	0.0%	0.0%	1.7%	3.4%	44.1%	32.2%	15.3%	100%	
選択肢	オ 50代	カ 60代	キ 70代	ク 80歳~	合計					
回答数	2	26	19	9	59					
構成比 (%)	3.4%	44.1%	32.2%	15.3%	100%					

6. 今後、受講してみたい内容がありましたらお聞かせください。

- ・科学
- ・化学
- ・生物学
- ・地学
- ・美術史、アートの深掘り
- ・平安期文学
- ・哲学
- ・板橋区に関する講義（歴史、地理、経済、行政、史跡、文化財等）
- ・日本史（戦国史、近現代史等）
- ・映画史、相撲史
- ・国際政治、安全保障
- ・身近な自然に親しむ
- ・身近に広がる薬物の知識
- ・健康血圧と食事と運動
- ・IT関係（AI）
- ・音楽（理論）
- ・古典芸能（歌舞伎・落語・狂言・能等）
- ・相対性理論
- ・外国語
- ・防災関連

高校生以下も
大歓迎!

資料 1 - 3

令和7年度板橋グリーンカレッジ公開講座

地球科学

～地球史・大地震を考える～

自由研究の
課題にも!

7月21日（月・祝）

第1回 「太陽系と地球の形成過程」

7月27日（日）

第2回 「化石からわかる生命の誕生と進化」

8月2日（土）

第3回 「南海トラフ地震と防災」



会場：板橋区立グリーンカレッジホール

※いずれも10時00分～11時30分

※全3回コース

定員：100名(抽選)

費用：1000円（高校生以下無料）

講師 石山 謙 氏

所属 東京国際工科専門職大学/東北大学/玉川大学

東北大学大学院理学研究科 地球物理学専攻 博士後期課程修了。宇宙航空研究開発機構 (JAXA)、鶴岡工業高等専門学校を経て、現在は、東京国際工科専門職大学（講師）、東北大学(客員研究者)、玉川大学(非常勤講師)を務める。宇宙惑星科学分野の研究（特に月の火山活動の研究）に従事している。

板橋グリーンカレッジとは？

あらゆる世代の区民の皆様の多種多様な学習意欲に応えることを目的に開校しており、2年制の大学校と、1年制の学院で構成されています。板橋グリーンカレッジの受講生以外の方にもカレッジを体験頂けるよう、公開講座を行なっております。



とき

第1回 令和7年7月21日（月・祝）

第2回 令和7年7月27日（日）

第3回 令和7年8月2日（土）

いずれも10時00分から11時30分まで

※すべての日程にご参加ください。



ところ

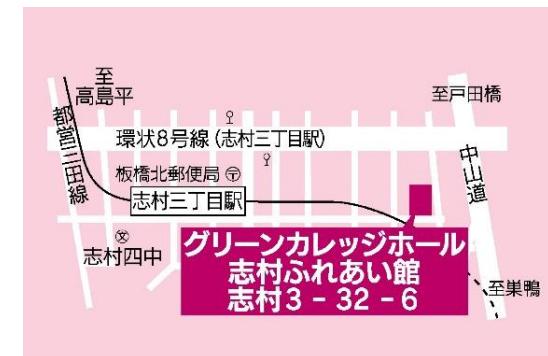
板橋区立グリーンカレッジホール 3階 教室1

板橋区志村3-32-6

【都営三田線】志村三丁目駅下車 徒歩5分

【国際興業バス】志村三丁目駅バス停下車

徒歩5分



受講対象

区内在住・在勤・在学の方 100名

※定員を超過した場合は、抽選となります。



受講料

1000円

※高校生以下の方は無料です。

※初日にお支払いいただきます。



申込方法

往復はがき、または電子申請にて申込み

往復はがきの場合

【記入事項】

①板橋グリーンカレッジ公開講座申込み

②郵便番号・住所

③氏名（ふりがな）

④生年月日

⑤電話番号

⑥区内在勤・在学の場合は、

勤務先（所在地）・学校名を記入

※返信用にも住所・氏名を明記してください。

※ご家族連れ等複数人申込の場合は、申込者全員分の

①氏名（ふりがな）②生年月日をご記入ください。

令和7年7月2日必着

電子申請の場合

右記QRコードから、

専用フォームに

必要事項を入力し、

お申込みください。



申込み・問合せ

板橋区立グリーンカレッジホール

〒174-0056

板橋区志村3-32-6

☎03-3960-7701



令和 7 年度
板橋グリーンカレッジ
大学校（前期）
講義アンケート結果

令和7年度 板橋グリーンカレッジ大학교 1年生（前期）アンケート

▼受講者数	206名	134名	(回収率 65%)
※構成比は複数回答の設問は回答数を100%とした値である。 複数回答以外の設問は合計数を100%とした値である。			

1 受講した目的について、当てはまるものに○をつけてください。（複数回答可）

選択肢	①学習意欲を満たすため	②仲間づくり・交流のため	③日々を有意義に過ごすため	④その他
回答数	56	3	70	4
構成比 (%)	42%	2%	52%	3%

2 受講して得られたことについて、当てはまるものに○をつけてください。（複数回答可）

選択肢	①知識を得ることができた	②友人ができた・交友関係が広がった	③生活のリズムや充実感がうまれた	④地域活動に関心を寄せるようになった	⑤その他
回答数	81	0	39	7	4
構成比 (%)	61.8%	0.0%	29.8%	5.3%	3.1%

3 板橋グリーンカレッジをどのようにしてお知りになりましたか。（複数回答可）

選択肢	①広報いたばし	②区ホームページ	③チラシ・ポスター	④伝聞	⑤SNS	⑥その他	合計
回答数	69	11	11	6	0	3	100
構成比 (%)	69.0%	11.0%	11.0%	6.0%	0.0%	3%	100%

4 年齢はいくつですか。当てはまるものに○をつけてください。

選択肢	①～19歳	②20代	③30代	④40代	⑤50代	⑥60代	⑦70代	⑧80歳～	合計
回答数	0	0	0	1	7	38	39	3	88
構成比 (%)	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	8.0%	43%	44%	3%	100.0%

5 ご職業について、当てはまるものに○をつけてください。

選択肢	①会社員	②公務員	③会社経営者	④パート・アルバイト	⑤学生（小中高）	⑥学生（専門学生）	⑦学生（大学等）	合計
回答数	3	1	2	6	0	1	1	
構成比 (%)	3%	1%	2%	7%	0%	1%	1%	
選択肢	⑧自営業（フリーランス、個人事業主を含む）	⑨その他団体職員（NPO、組合等）	⑩無職	⑪その他	合計			
回答数	3	0	67	4	88			
構成比	3%	0%	76%	5%	100%			

6 各講義の満足度について、当てはまるものに○をつけてください。※ご自身が受講された講座のみご回答ください。

①歴史 「桂太郎と近代日本」 学習院大学文学部史学科 教授 千葉 功 先生

選択肢	①たいへん満足	②満足	③ふつう	④やや不満	⑤不満	合計
回答数	16	34	11	1	1	63
構成比 (%)	69.0%	11.0%	11.0%	6.0%	0.0%	97%

知らない知見が聞けた。新しい視点を得られた。わかりやすい講義で内容も興味深かった。参考になりました。桂太郎という人物を知れた。興味がない分野だったので良くなかった。

②絵本 「平成の絵本文化を振り返る」 日本女子大学家政学部児童学科 准教授 今田 由香 先生

選択肢	①たいへん満足	②満足	③ふつう	④やや不満	⑤不満	合計
回答数	12	27	13	0	1	53
構成比 (%)	22.6%	50.9%	24.5%	0.0%	1.9%	100%

戦後の文化史の意義が知れた。

③観光学 「ICT（情報コミュニケーション技術）は旅にどんな革命をもたらしてきたか？」 東京都立大学都市環境学部観光科学科 准教授 倉田 陽平 先生

選択肢	①たいへん満足	②満足	③ふつう	④やや不満	⑤不満	合計
回答数	7	31	21	8	5	72
構成比 (%)	9.7%	43.1%	29.2%	11.1%	6.9%	100%

期待していた内容と違っていた。

講座と呼べるものではなかった。

講義の発音・ハギレ等が悪く、何を話しているのか聞き取りが非常に困難であった。

聞いていて疲れた。

参考になりました。

最近の旅行業界の知識が増えた。

④文章論 「文章の書き方入門—「伝える」を意識してみよう」 跡見学園女子大学観光コミュニケーション学部 准教授 小関 孝子 先生

選択肢	①たいへん満足	②満足	③ふつう	④やや不満	⑤不満	合計
回答数	17	32	19	3	1	72
構成比 (%)	23.6%	44.4%	26.4%	4.2%	1.4%	100%

段階を踏んで書けば、論文も書けるような気持ちになったから。

文章の書き方を再認識できた。

講義の内容が実践的で良かった。

⑤健康 「急変前徵候を見逃さないために」 豊島病院 集中ケア認定看護師 柳山 由佳 先生

選択肢	①たいへん満足	②満足	③ふつう	④やや不満	⑤不満	合計
回答数	22	31	17	4	0	74
構成比 (%)	29.7%	41.9%	23.0%	5.4%	0.0%	100%

知っていることばかりだった。

内容が不十分。

日常生活に役立つ内容であった。

⑥文化史 「都市から農山村への移住を考える—『田舎暮らし』から『地方移住』まで」 大正大学人間学部人間科学科 専任講師 畑山 直子 先生

選択肢	①たいへん満足	②満足	③ふつう	④やや不満	⑤不満	合計
回答数	3	35	21	5	1	65
構成比 (%)	4.6%	53.8%	32.3%	7.7%	1.5%	100%

具体的な移住の例の話題を期待していた。

余り目新しい内容はなかったので。

理解は出来たが淡々としていて少し眠くなつた。

内容が不明確。

歴史ではなくメリット・デメリットのような話がきたかった。

⑦芸術 「化け物は進化する？寺田寅彦に学ぶ日本の妖怪」 法政大学理工学部創生科学科 教授 横山 泰子 先生

選択肢	①たいへん満足	②満足	③ふつう	④やや不満	⑤不満	合計
回答数	9	30	11	5	1	56
構成比 (%)	16.1%	53.6%	19.6%	8.9%	1.8%	100%

視点が拡がつた。

友人によると良かったらしく、とらなくて残念。

寺田寅彦の意外な考えを知ることができた。

今まであまり接する機会がなかったジャンルのお話で興味深かつた。

⑧法律 「裁判員制度を通じて学ぶ刑法入門」 専修大学法学部 教授 岡田 好史 先生

選択肢	①たいへん満足	②満足	③ふつう	④やや不満	⑤不満	合計
回答数	15	41	12	2	0	70
構成比 (%)	21.4%	58.6%	17.1%	2.9%	0.0%	100%

講義の進め方が早かったが資料が役に立つ。

刑法の内容を知ることができよかったです。

理解は出来たが少し難しい。

事例に合わせて説明してもらえると良かった。理解が深まりました。内容、言葉が難しい！もう少し詳しく説明して欲しかつた。

詰め込み過ぎの感はあったが聞きごたえがあつた。

⑨経済学 「はじめての経済学－『神の見えざる手』の正体を解明せよ－」 大東文化大学経済学部現代経済学科 講師 岡田 知久 先生

選択肢	①たいへん満足	②満足	③ふつう	④やや不満	⑤不満	合計
回答数	36	31	9	2	0	78
構成比 (%)	46.2%	39.7%	11.5%	2.6%	0.0%	100%

解りやすい講義でした。

ていねいなプレゼンだったので苦手分野に近寄れた感がした。

資料がわかりやすい。話聞きとりやすい。もっと深く勉強したくなる。

とてもわかりやすく、経済というものを再認識できた。

わかりやすかった。継続講義希望、時間が短い。

⑩統計学 「データサイエンス入門～生成AI時代に活躍できる人材へ～」 株式会社Rejoui取締役 見並 まり江 先生

選択肢	①たいへん満足	②満足	③ふつう	④やや不満	⑤不満	合計
回答数	22	23	8	1	0	54
構成比 (%)	40.7%	42.6%	14.8%	1.9%	0.0%	100%

AIについての見方、ポイント及びデータハックに近よれたが。

ワーク→おもしろく今後の見方が変わつた。活用したい。

AI時代の最新事情を知ることができた。わかりやすく楽しかつた。

今までの知識をまとめることができた。

⑪メディア学 「人気雑誌から見る漫画表現の変遷」 明治大学国際日本学部 教授 宮本 大人 先生

選択肢	①たいへん満足	②満足	③ふつう	④やや不満	⑤不満	合計
回答数	14	32	12	2	0	60
構成比 (%)	23.3%	53.3%	20.0%	3.3%	0.0%	100%

わかりやすく、漫画の変遷を知ることができた。楽しかつた。

理解しやすい内容でした。

具体的にくわしく説明してくださつたので楽しく聴きました。

7 今後、どの分野の講義を受講したいですか。（複数回答可）

選択肢	①歴史	②絵本	③観光学	④文章論	⑤健康
回答数	40	18	9	11	34
構成比 (%)	7.3%	3.3%	1.6%	2.0%	6.2%

選択肢	⑥文化史	⑦芸術	⑧法律	⑨経済学	⑩統計学
回答数	22	30	28	24	12
構成比 (%)	4.0%	5.5%	5.1%	4.4%	2.2%

選択肢	⑪メディア論	⑫文学	⑬音楽	⑭哲学	⑮板橋学
回答数	12	28	27	30	24
構成比 (%)	2.2%	5.1%	4.9%	5.5%	4.4%

選択肢	⑯福祉	⑰心理学	⑱建築学	⑲地理	⑳社会
回答数	18	45	19	23	15
構成比 (%)	3.3%	8.2%	3.4%	4.2%	2.7%

選択肢	㉑天文学	㉒プログラミング	㉓科学	㉔その他	合計
回答数	31	20	20	3	543
構成比 (%)	5.7%	3.6%	3.6%	0.5%	

【その他】

8 板橋グリーンカレッジに関するご意見・ご要望等がございましたら、ご記入ください。

いろいろな年代の方とご一緒に受講できとてもおもしろかったです。

講師の人選もよいと思います。

座学がメインですが、グループワークや意見交換の時間も少しあるとよいのではないか・・・と感じました。

スピーカーがもう少し聞き取りやすくして頂きたいです。エコーがかかり聞きづらいことがありました。

1テーマを90分1回で完結するのは、どうしても掘り下げる時間が浅くなります。2回、3回の連続、前編、中編、後編などのカリキュラムも良いかも。

初めての参加で、もっと何をやっているのかなどを知りたい。存在すら知りませんでした。

明治・大正・昭和という時代の歴史の講義も行っていただけるとありがたい。

色々な分野の講義が聴けてとても有意義で有難いと思います。これからも色々なジャンルの講義を期待しています。

会場が寒かったです。エアコン弱くして欲しい、2時間近くはとても辛い。

日程が急に合わず出席できない時は変更できると良い。

欠席したり補修のために動画配信をしてほしい。

質疑応答の時間は必ず設けていただきたいです。

色々な先生方のお話を伺えることは直接刺激を受けられるのでこういう機会を与えて下さることに感謝しております。講義を増やしてもらいたいと思います。午前中の講義を増やしてもらえたならと思います。

令和7年度 板橋グリーンカレッジ大学校2年生・聴講生（前期）アンケート

▼受講者数	345名
	157名 (回収率 45.50%)
※構成比は 複数回答の設問は回答数を100%とした値である。	
複数回答以外の設問は合計数を100%とした値である。	

1 受講した目的について、当てはまるものに○をつけてください。（複数回答可）

選択肢	①学習意欲を満たすため	②仲間づくり・交流のため	③日々を有意義に過ごすため	④その他
回答数	71	14	70	0
構成比 (%)	45%	9%	45%	0%

2 受講して得られたことについて、当てはまるものに○をつけてください。（複数回答可）

選択肢	①知識を得ることができた	②友人ができた・交友関係が広がった	③生活のリズムや充実感がうまれた	④地域活動に関心を寄せるようになった	⑤その他
回答数	93	5	38	13	0
構成比 (%)	62.4%	3.4%	25.5%	8.7%	0.0%

(その他)

もっと知りたかった。

3 板橋グリーンカレッジをどのようにしてお知りになりましたか。（複数回答可）

選択肢	①広報いたばし	②区ホームページ	③チラシ・ポスター	④伝聞	⑤SNS	⑥その他	合計
回答数	80	15	10	5	1	7	118
構成比 (%)	66.7%	12.5%	8.3%	4.2%	0.8%	6%	98%

(その他)

友人が通っていた。

4 年齢はいくつですか。当てはまるものに○をつけてください。

選択肢	①～19歳	②20代	③30代	④40代	⑤50代	⑥60代	⑦70代	⑧80歳～	合計
回答数	0	0	1	1	5	31	48	9	95
構成比 (%)	0.0%	0.0%	1.1%	1.1%	5.3%	33%	51%	9%	100%

5 ご職業について、当てはまるものに○をつけてください。

選択肢	①会社員	②公務員	③会社経営者	④パート・アルバイト	⑤学生（小中高）	⑥学生（専門学生）	⑦学生（大学等）
回答数	4	0	1	14	0	0	0
構成比 (%)	4.2%	0.0%	1.1%	14.7%	0.0%	0%	0%
選択肢	⑧自営業（フリーランス、個人事業主を含む）	⑨その他団体職員（NPO、組合等）	⑩無職	⑪その他	合計		
回答数	4	0	65	7	95		
構成比	4%	0%	68%	7%			

6 各講義の満足度について、当てはまるものに○をつけてください。※ご自身が受講された講座のみご回答ください。

①文学 「『源氏物語』の女性たち」 立教大学日本学研究所 研究員 馬場 淳子 先生

選択肢	①たいへん満足	②満足	③ふつう	④やや不満	⑤不満	合計
回答数	18	14	5	0	0	37
構成比 (%)	48.6%	37.8%	13.5%	0.0%	0.0%	100%

エピソードのご紹介が楽しい。

スライド映像を含めてとても楽しく興味深く拝聴致しました。又是非受講したい。

自身の知識を重ね合わせることができた。

すっかり覚えて楽しかった。

講義がとても楽しかった。

興味深い資料が多かった。

源氏物語に対する理解を興味が深まった。

人間模様がおもしろかった。

長い物語なので今回の浮舟は面白かった。

②哲学 「『人間とは何か?』を問う西洋哲学～自己・生・そして実存～」 武蔵野大学 名誉教授 久富 健 先生

選択肢	①たいへん満足	②満足	③ふつう	④やや不満	⑤不満	合計
回答数	19	11	4	2	0	36
構成比 (%)	52.8%	30.6%	11.1%	5.6%	0.0%	100%

難しかった。

哲学の扉を開いて頂きました。とても造詣深くもっと講座を受けたいと切に願います。

講義は非常に哲学の好きになった。

とにかく先生の話が面白い。

難しい内容だったが、先生のユーモアを交えた講義が大変興味をもって受講できた。

体系的に学べてよかったです、資料が豊富。

久富先生の情熱的な講義に感動、生きる事を考える=哲学であると実感、哲学が身近なものになった。

哲学を学ぶきっかけになった。半世紀前に滞在したフランス時代から興味があった。

③歴史 「足利義政の時代」 大正大学文学部歴史学科 准教授 木下 昌規 先生

選択肢	①たいへん満足	②満足	③ふつう	④やや不満	⑤不満	合計
回答数	8	8	9	2	1	28
構成比 (%)	28.6%	28.6%	32.1%	7.1%	3.6%	100%

内容が難しそう。

対象を絞り過ぎたきらいあり。

室町時代の複雑さがわかった。

足利義政の時代をより深く知る事ができた。

④法律 「『民法』研究～市民社会の基本ルールを深掘り～」 東京都行政書士会板橋支部支部長 行政書士 齊藤 志郎 先生

選択肢	①たいへん満足	②満足	③ふつう	④やや不満	⑤不満	合計
回答数	4	22	9	2	0	37
構成比 (%)	10.8%	59.5%	24.3%	5.4%	0.0%	100%

民法の基本や重要事項を学べ今後の生活に役立てることができる。相続、遺産、遺言他

基本的な法律が具体的に理解した。

突っ込みが不足だった。もっと具体的な事例に依る研修を希望。

身近な法律を学ぶことができたが言葉を理解することがむずかしかった。

具体例が多くわかりやすい内容だった。身近な法律ではあるが、知らないと不利益をもたらす事もあるので役に立った。

日常生活の中で立ち止まって考えようと思った。詳しく説明があってよかったです。

⑤心理学 「こころの健康作りのために私達ができること」 知っておきたいメンタルヘルスの基礎知識 公認心理師 義本 伸子 先生

選択肢	①たいへん満足	②満足	③ふつう	④やや不満	⑤不満	合計
回答数	12	16	7	2	2	39
構成比 (%)	30.8%	41.0%	17.9%	5.1%	5.1%	100%

具体的な状況や対人の仕方を学ぶ事ができた

心と体のつながりの大切さに気付く。

大変失望した。学術的な内容かと期待していたが心理学という科目にこの内容があてはまるとは思えない。メンタルヘルスと講義名を変えたほうがいい。

メンタルヘルスについて学ぶことができた。

代表的な精神疾患についてとても理解できた。呼吸法が大事だと改めて学んだ。自分ができる事を改めて考える事ができた。

求めていたものと違った。

「心身のバランスを整えるための知恵と実技」 高島平ウィメンズヘルス研究所 石田 ゆかり 先生

選択肢	①たいへん満足	②満足	③ふつう	④やや不満	⑤不満	合計
回答数	12	20	4	5	1	42
構成比 (%)	29%	47.6%	9.5%	11.9%	2.4%	100%

体験を通して学べたことで日常生活に活かせる 体操の実技が実用的。

心身のバランスを整えるための体操など参考になった。

ひざらく体操がとてもよかったです。体操をしながら講座を聞いて清々しい気持ちになりました。

身体を動かして心身のバランスを整える事ができた。実技が多くもう少し「心」の面も深く掘り起こしてもらいたかった。

求めていたものと違った。

学問としての心理学を期待していた。

「自分の人生をデザインして地域で生きる」 キャリアコンサルタント 矢野 由加 先生

選択肢	①たいへん満足	②満足	③ふつう	④やや不満	⑤不満	合計
回答数	15	16	4	3	2	40
構成比 (%)	37.5%	40.0%	10.0%	7.5%	5.0%	100%

自分を振り返る機会を得られて交流も有意義だった

3回トータルでわかりやすい

導入のワークが巧み。

自分自身を知ることができて良かった。

自分を見つめなおすきっかけになり、これから事を考える事ができた。

地域の中で生きていく自分の生活をアレンジしたいと思った。

自分の不安を書き出し隣の方とディスカッションすることで不安が解消されるような気がした。

求めていたものと違った。受講者間のコミュニケーションとキャリアデザインを言語化した。

⑥地理 「東京・武藏野台地の地形と都市景観」 早稲田大学オープンカレッジ 講師 松本 泰生 先生

選択肢	①たいへん満足	②満足	③ふつう	④やや不満	⑤不満	合計
回答数	14	16	7	4	0	41
構成比 (%)	34.1%	39.0%	17.1%	9.8%	0.0%	100%

映像、地図資料等が豊富で楽しく学べた 板橋区を発見した。

納得できない説明もあったが自分の住んでいる地域の地形特性を色々と知る事が出来た。

都内を散歩している感じで楽しかった。知らなかつた事を多く知れた。

自分の住んでる所がどんな所かわかつてくるのが楽しい。

全て土曜で出席できたの一回のみになった、土日は用事があるため平日にしてほしい。

都市景観の変化も写真で紹介してもらいわかりやすかった。

都市の移り変わり、特徴のある現代の建築物など面白く学ぶことができた。

⑦経済 「自分に合った資産運用を始めるための応用知識」 税制優遇制度と自分に合った利用方法とは NPO法人金融と証券を学習する会 証券カウンセラー 今津 多佳

選択肢	①たいへん満足	②満足	③ふつう	④やや不満	⑤不満	合計
回答数	7	8	5	5	0	25
構成比 (%)	28.0%	32.0%	20.0%	20.0%	0.0%	100%

NISAの知識が曖昧であったがわかりやすい説明と資料で明確になった。

経済・金融市场を読み解くための基本 NPO法人金融と証券を学習する会 証券カウンセラー 添田 守輝 先生

選択肢	①たいへん満足	②満足	③ふつう	④やや不満	⑤不満	合計
回答数	9	9	3	1	0	22
構成比 (%)	40.9%	40.9%	13.6%	4.5%	0.0%	100%

景気、金利、為替、物価などと投資の関連がわかりやすい説明があり参考になった。

経済 資産運用の基本的な考え方と運用商品選び NPO法人金融と証券を学習する会 証券カウンセラー 馬島 由香 先生

選択肢	①たいへん満足	②満足	③ふつう	④やや不満	⑤不満	合計
回答数	9	11	1	2	0	23
構成比 (%)	39.1%	47.8%	4.3%	8.7%	0.0%	100%

3

⑧プログラミング 「生成AIを活用したプログラミング入門」 NPO法人プログラミング教育研究所 理事長 伊藤 功一 先生

選択肢	①たいへん満足	②満足	③ふつう	④やや不満	⑤不満	合計
回答数	0	5	3	2	0	10
構成比 (%)	0.0%	50.0%	30%	20.0%	0.0%	100%

大変分かりやすく新しい知識が得られた。

7 今後、どの分野の講義を受講したいですか。（複数回答可）

選択肢	①文学	②哲学	③歴史	④法律	⑤心理学
回答数	30	25	44	19	30
構成比 (%)	6.8%	5.7%	10.0%	4.3%	6.8%

選択肢	⑥地理	⑦経済	⑧プログラミング	⑨スポーツ	⑩芸術
回答数	18	28	9	16	32
構成比 (%)	4.1%	6.4%	2.0%	3.6%	7.3%

選択肢	⑪絵本	⑫板橋学	⑬健康	⑭福祉	⑮生活史
回答数	15	26	31	13	19
構成比 (%)	3.4%	5.9%	7.0%	2.9%	4.3%

選択肢	⑯農業	⑰天文学	⑱統計学	⑲その他
回答数	23	34	16	9
構成比 (%)	5.2%	7.7%	3.6%	2.0%

<その他>

日本語について深く勉強してみたい。

8 板橋グリーンカレッジに関するご意見・ご要望等がございましたら、ご記入ください。

心理学は何かという学問的な講義を期待していたので期待はづれで残念でした。講義の内容があらかじめわかるように提示してあればこういう問題は防げると思いますが・・・。

歴史は細かすぎるなかなか理解できなかつた。

同じ課目を3週するとわかりやすく理解もできる。来るのが楽しみになった。

今年度の課目選択方法は年内6教科と総花的になり過ぎ。

月に2回程の講義にしてください。

講義の録音が出来ると助かる。聞き逃したところを確認出来る為。

講座は興味深くたいへん勉強になったが、日程が同じ月に集中したため忙しく通学が大変。日程の設定の工夫を希望。

講義中の私語が気になりました。スタッフが注意してほしい。

年間のスケジュールを知りたい。

素晴らしいでした。

受講生の人数に対して教室が狭かったような気がします。

クーラーが寒い。

3講義共前年度に引き続きとても充実していて大変興味深く拝聴いたしました。もっとお時間を取っていただけたらと毎回思いました。受講料が安くて申し訳ない位です。先生はじめ他の受講生も大変熱心で私も頑張ることができました。後期は皆勤をめざしたいと思います。

午後6:00～土、日の講座も希望。働き方改革で午後6:00以降は残業になるのも理解しますが。

板橋グリーンカレッジ専用ポータルサイトの導入について

令和 7 年度第 1 回運営協議会で説明した板橋グリーンカレッジ専用ポータルサイトについて、令和 8 年度受講申し込み受付から以下のとおり運用する。

記

1 ポータルサイトで行う手続きと機能について

(1) 受講申し込み、履修科目選択

令和 7 年度までは紙と電子フォームで受講申込み及び履修科目選択を受け付け、抽選後結果を郵送またはメールで通知していた。

しかし、郵送やメール発送事務、履修科目の抽選処理に約 1 か月の期間を要しており、受講生から結果についての問い合わせを多数受けていた。

これらの対策として、令和 8 年度からは専用ポータルサイトで受講申し込み及び履修科目選択を受け付け、受講生がポータルサイトから結果を確認出来るようにする。

さらに、履修科目選択をポータルサイトでの先着順とする。

これにより、結果通知までに要する期間が約 1 週間に短縮される見込みである。

また、履修科目選択の定員は教室定員に合わせて 144 名とする。今年度最も受講者数が多かった科目は芸術の 141 名であるため、先着順とした場合でもほとんどの受講生が希望する科目を選択できる見込みである。

(2) 出欠登録

令和 7 年度までは受講生に紙の受講証を配布し、職員が受付で受講証に押印していたが、講義開始直前に受講生が受付に集中するなどの問題があった。

対策として、受講生がポータルサイトを利用して出欠を登録する運用とする。

(3) 講義アーカイブ配信（テスト運用）

講義終了後、受講生に向けて講義のアーカイブ配信のテスト運用を行う。配信は同一学年に限り。履修選択していない科目も視聴する事が可能で、配信期間は各年度末までとする。また、著作権など配信し難い事情がある場合には、当該科目についてはアーカイブ配信を行わないものとする。

(4) 事務局からの連絡

事務局からの連絡について、ポータルサイト上での掲示と、ポータルサイトに登録したメールアドレス宛にお知らせメールを送信する。

事務局がポータルサイト上のお知らせを見た受講生を確認できることから、災害時など緊急の連絡の場合、お知らせを見ていない人に架電するなど、柔軟な運用が可能

となる。

(5) 資料配布・提出

講義資料やお知らせなどをポータルサイト上で受講生へ配布する。また、卒業レポートなど受講生から事務局へ提出する資料もポータルサイト上で提出してもらう。

2 受講生への支援

(1) スマートフォンやPCを所有している受講生へのサポート

スマートフォンやPCを所有しているがポータルサイトの操作に不安がある受講生に向けて、説明会を行う予定である。説明会では実際の画面を投影しながら操作手順を説明するほか、受講生に実際に端末を操作してもらう時間を設ける。

(2) スマートフォン、PCを持っていない受講生への配慮

スマートフォンやPCを所有していない受講生については、従来通り紙での申請を受け付けることとする。

3 ポータルサイトの導入等に伴う受講料の値上げについて

上記ポータルサイトの導入に伴う受講料の値上げについて、令和7年度第1回運営協議会で年間10,000円と提示したが、再検討した結果、以下のとおり受講料を改定する。

【改定前】年間5,000円 ⇒ 【改定後】年間8,000円

○経費内訳（令和8年度予算）

・講師謝礼	2,663,000円
・会場使用料	745,000円
・消耗品費	874,000円
・印刷製本費	171,000円
・システム利用料	3,696,000円
経費合計	<u>8,149,000円</u>
⇒受講生（820名）1人あたり	<u>約9,900円</u>

資料 4

令和 8 年度板橋グリーンカレッジ受講生募集について

令和 8 年度板橋グリーンカレッジ受講生募集について、以下の方法で実施予定である。

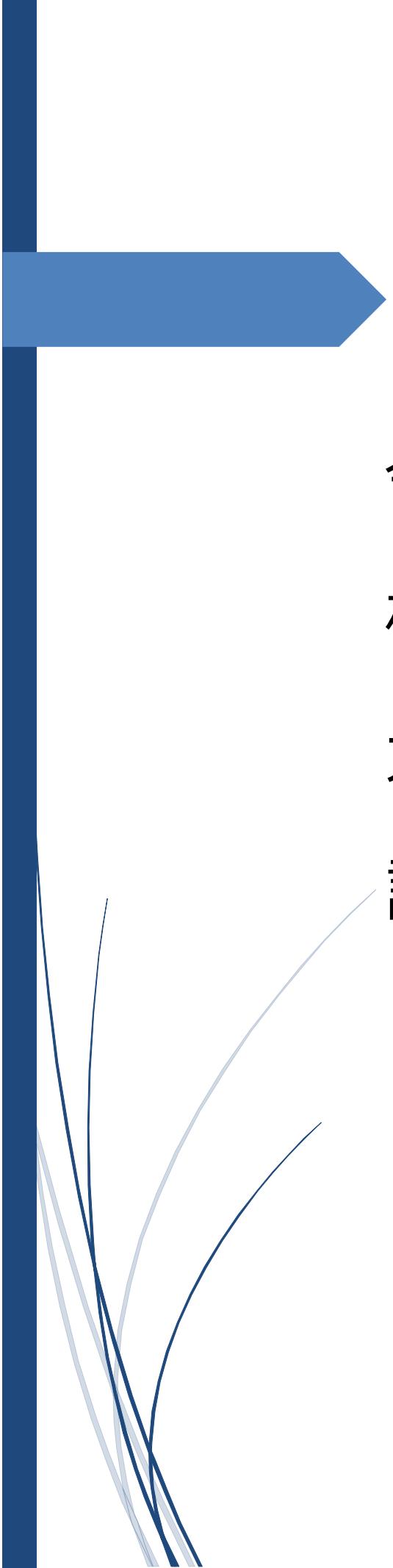
記

1 令和 8 年度運営方法

	1年生	2年生	聴講生	大学院
コース	科目選択制		科目選択制	文化文学 社会生活 健康福祉
定員	300 名	300 名	<u>130 名</u>	90 名 各コース 30 名
講義時間	90 分		90 分	90 分
講義回数	年 18 回		年 18 回	年 13 回
対象者	新規募集		聴講生は新規募集	新規募集

2 募集日程について

- (1) 令和 8 年 1 月 17 日号の広報いたばしに掲載予定
- (2) 区ホームページ掲載ほか



令和 8 年度

板橋グリーンカレッジ

大学校 1 年生

講座一覧 (前期)

令和8年度 板橋グリーンカレッジ大学校1年生 講座一覧（前期）

ね ら い：1年生では、生涯学習を促進する多種多様なテーマについて、幅広く学びます。

会 場：グリーンカレッジホール（志村3-32-6）3階 教室1

講座番号	科目	日時 ※Ⓐ・Ⓑは同内容の講義	テーマ・講義内容	講師
1	文化	<p>Ⓐ 5月7日(木) 10:00～11:30</p> <p>Ⓑ 5月7日(木) 14:00～15:30</p>	<p>《フランス文化》逍遙 ～新・フランス文化論～</p> <p>フランス文化を追想すると、“華やかなイメージ”を抱きます。まさに芸術・文学・映画・料理・ファッション等々…多彩で豊富なテーマが展開しています。そこには、ヨーロッパの奥深き世界を導いてきた歴史と伝統が息づいています。しかし、この混迷と激動の時代に、今日のフランスで、文化の表象がどのように変貌し、フランス的精神[エスプリ]がどうなっているのか？フランスの多彩な時空を逍遙しながら、この講義で探っていきたいと思います。ぶらりと文化をめぐる旅へ！</p>	<p>武藏野大学 名誉教授</p> <p>ひさとみ けん 久富 健</p>
2	歴史	<p>Ⓐ 5月8日(金) 10:00～11:30</p> <p>Ⓑ 5月8日(金) 14:00～15:30</p>	<p>史料にみる豊臣秀吉・秀長兄弟</p> <p>今年 2026 年の NHK 大河ドラマ「豊臣兄弟」は、豊臣秀吉の弟秀長が主人公であり、兄秀吉との関係が描かれてゆくことになると思われます。ここでは、秀長が出した文書や秀吉が秀長に宛てた文書など、二人に関わる史料を読みながら、実際に豊臣秀長はどのような人物だったのかを考えてみます。</p>	<p>東京大学 史料編纂所 教授</p> <p>かねこ ひらく 金子 拓</p>
3	経済	<p>Ⓐ 5月11日(月) 10:00～11:30</p> <p>Ⓑ 5月11日(月) 14:00～15:30</p>	<p>水の経済学</p> <p>水害や渇水の多発、そして環境再生の観点から、水問題は世界的に喫緊の課題です。そこで本講義では、河川から取水するための法的源泉である水利権の市場取引や環境再生のためのダム撤去、水系感染症対策などの事例を通じて、水と経済そして社会との関わりについて具体的に考えてみたいと思います。</p>	<p>東京経済大学 経済学部 教授</p> <p>の だ こうじ 野田 浩二</p>
4	文章論	<p>Ⓐ 5月19日(火) 10:00～11:30</p> <p>Ⓑ 5月19日(火) 14:00～15:30</p>	<p>文章の書き方入門——書きはじめる前の準備を大切にしよう</p> <p>長い文章を書くためにはいくつかのポイントがあります。タイトルつけ方、構成の組み方、目次の立て方、参考文献の引用方法など、難しく思うかもしれません。でも、一番大切なことは、読み手に「伝える」ということを意識しながら、書きはじめる前にじっくり準備をすることです。この講座では、わかりやすい文章を書くための具体的なテクニックをワーク形式でお伝えします。文章を書くことを楽しみましょう</p>	<p>跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部 准教授</p> <p>おぜき たかこ 小関 孝子</p>

講座番号	科目	日時 ※Ⓐ・Ⓑは同内容の講義	テーマ・講義内容	講師
5	絵本	Ⓐ 5月 21 日(木) 10:00～11:30	日本の絵本文化の豊かさを実感しよう 日本の出版文化の中でも、絵本は独自の位置を占めています。子どもの活字離れは常に問題となっていますが、その一方で、『しろくまちゃんのほっとけーき』(1972年)をはじめ、ロングセラー／ベストセラー絵本は多数存在しています。みなさん、日本の絵本文化の豊かさを、一緒に実感しましょう！	駒澤大学 総合教育研究部 日本文化部門 教授 ないとう ひさこ 内藤 寿子
		Ⓑ 5月 21 日(木) 14:00～15:30		
6	法律	Ⓐ 5月 22 日(金) 10:00～11:30	暮らしと法律～日常生活と法律の関わりについて～ 私たちの毎日の暮らしは、意識はしていませんが実は法律とかかわっています。買い物ももちろん法律的行為です。本講座では、私たちの暮らしについて定めた法律である民法を中心に、身近な事例を交えながらやさしく解説します。契約、相続、遺言など、どなたも関心があるちょっと高度な内容も理解していただける内容となっております。自分と家族の暮らしを守る知恵について一緒に考えてみましょう。	東京都行政書士会 板橋支部 副支部長 行政書士 はなや よしのぶ 花谷 好信
		Ⓑ 5月 29 日(金) 10:00～11:30		
7	芸術	Ⓐ 6月 1 日(月) 10:00～11:30	「戦争画」と東京都美術館 戦時に描かれたいわゆる「戦争画」は終戦後まもなく収集され、東京都美術館に保管されました。「戦利品」としてアメリカへ移送されるまでの約5年間、その処遇について、日本側とGHQとのあいだで、あるいはGHQ内部でどのような議論がなされたのでしょうか。占領下における「戦争画」がたどった道のりを追ってみたいと思います。	武蔵野美術大学 通信教育課程 芸術文化学科 准教授 かわむら えみこ 川村 笑子
		Ⓑ 6月 1 日(月) 14:00～15:30		
8	IT	Ⓐ 6月 5 日(金) 10:00～11:30	AI 時代の情報リテラシー ～データを読み解く力と活用の心得～ データやAIが社会のあらゆる場面で活用される時代が、すぐそこまで来ています。これから私たちには、情報の背景にある事実や意味を正しく理解し、自ら考えて判断する力が求められます。身近な事例を通して、データやAIをどのように活用していくかを一緒に考えてていきましょう。	成蹊大学 理工学部理工学科 准教授 やまのい ひとみ 山野井 瞳
		Ⓑ 6月 5 日(金) 14:00～15:30		

講座番号	科目	日時 ※Ⓐ・Ⓑは同内容の講義	テーマ・講義内容	講師
9	健康	Ⓐ 6月 12日(金) 10:00～11:30 Ⓑ 6月 19日(金) 10:00～11:30	長寿は腸が決め手！微生物と発酵食の知恵 元気で長生きするためのカギは、腸内に住む乳酸菌などの微生物が握っています。免疫力、老化、心の健康に深く関わる腸内環境の整え方(プロバイオティクス・プレバイオティクス)を解説します。さらに、味噌や納豆など日本の発酵食品に宿る微生物の驚くべき力を知り、今日からできる具体的な食生活を学びます。	東洋大学 生命科学部 生物資源学科 准教授 みうら たけし 三浦 健
10	環境	Ⓐ 7月 3日(金) 10:00～11:30 Ⓑ 7月 3日(金) 14:00～15:30	魚の住める川－災害時代の多自然川づくり－ まちを流れる川の自然環境が豊かであれば、私たちの生活にも潤いが生まれます。近年は異常気象の影響で水災害が増えつつあり、洪水氾濫を抑えることに河川整備の主眼が置かれていますが、魚が住める豊かな川づくりを両立することは可能でしょうか？本講義では、川の構造と生態系の関係、工事の方法などについて紹介します。	東京都立大学 都市環境学部 教授 よこやま かつひで 横山 勝英
11	科学	Ⓐ 7月 15日(水) 10:00～11:30 Ⓑ 7月 15日(水) 14:00～15:30	新ウイルスの出現に私たちの体はどのように対抗できるのか 2020 年に始まった新型コロナウイルスの世界的蔓延は記憶に新しいところです。人類は数万年間もの間、種々の新型ウイルスの出現に悩まされてきました。私たちの免疫系は、細胞の中に侵入したウイルスを見つけ出して、排除しなければなりません。しかし、初対面となる未知ウイルスをどのように見つけ出すのでしょうか？未知の敵に対抗する秘密に迫ります。	東京都立大学 理学部生命科学科 教授 かわはら ひろゆき 川原 裕之
12	観光	Ⓐ 7月 23日(木) 10:00～11:30 Ⓑ 7月 23日(木) 14:00～15:30	観光資源の保全と活用 「観光」はそれを行う人にとって人生を豊かにしてくれる余暇活動の一種ですが、近年では観光者を受け入れる地域において批判的な意見を耳にすることが多くなってきています。実はこれは観光が有する構造的な課題です。観光の対象となる資源に着目しながら、事例を交えてお話しします。	立教大学 観光学部観光学科 教授 はにゅう ふゆか 羽生 冬佳

«後期について»

後期は、10月～2月の間に11講座を実施する予定です。

・後期の科目（予定）

文学、音楽、哲学、板橋学、福祉、心理学、デザイン、ジェンダー、社会、天文学、スポーツ学

令和 8 年度
板橋グリーンカレッジ
大学校 2 年生
講座一覧 (前期)

令和8年度 板橋グリーンカレッジ大学校2年生 講座一覧（前期）

ねらい：2年生では、生涯学習を促進する多種多様なテーマについて、より専門的な内容を学び、教養を深めます。

会 場：グリーンカレッジホール（志村3-32-6）3階 教室1

講座番号	科目	日時	テーマ・講義内容	講師
1	メディア	5月9日(土) 10:00～11:30 5月16日(土) 10:00～11:30 5月23日(土) 10:00～11:30	芸術とメディア －映画作品からの考察－ 映画が娯楽か芸術か、この問題解決は簡単ではありません。そこで、「メディア」の概念を使ったアプローチを試みます。「メディア」の言葉は本来「仲介するもの」（媒介）を意味します。仲立ちするなら、仲立ちされるものと仲立ちされたものの二つがあるはず。この図式を意識して映画作品が何と何を仲介しているのか、そしてそれが可能であるなら映画とは何なのか、このことを考察してみましょう。 <ul style="list-style-type: none"> ● 5月9日：映画と美術のつながり、視覚のメディアから ● 5月16日：映画と音楽のつながり、聴覚のメディアから ● 5月23日：映画とメディア、そして映画はメディアであること 	跡見学園女子大学 文学部 元教授 そえじま よしみち 副島 善道
2	文学	5月12日(火) 10:00～11:30 5月18日(月) 10:00～11:30 5月25日(月) 10:00～11:30	フランス文学の現在地～ジャンルの垣根を超えて 日本とフランスは、一世紀半にわたってお互いの文学を積極的に翻訳してきました。いまこの瞬間も、映画やマンガ、オペラやシャンソンなど、文学に着想を得た作品が作られ、受容されています。いま、フランス文学をめぐってどんな面白いことが起きているか、19世紀から現代までの作品をいくつか取り上げて、初読・再読のきっかけをつかみましょう。 <ul style="list-style-type: none"> ● 5月12日：物語を映像にする：ユゴー『レ・ミゼラブル』とデュマ『モンテ・クリスト伯』 ● 5月18日：「ことば」と「音楽」を結ぶ：ヴェルレーヌ『月の光』からアポリネール「ミラボー橋」まで ● 5月25日：ヨーロッパを超えて世界に拡がるフランス文学：カミュ『異邦人』とカ梅ル・ダーウド『ムルソー再捜査』 	青山学院大学 文学部 フランス文学科 教授 ふくだ みゆき 福田 美雪
3	法律	5月13日(水) 14:00～15:30 5月20日(水) 14:00～15:30 5月27日(水) 14:00～15:30	はじめての相続講座 実例から学ぶ安心への備え 相続は身近でありながら、思い込みや誤解でトラブルになることが少なくありません。法律改正も進む中、事前の準備や正しい理解が大切です。本講座では、相続の専門家である司法書士が実務の事例を交えながら、相続の基本から実際の手続きまでを分かりやすく解説し、自分や大切な人を守る知識を身につけていただきます。 <ul style="list-style-type: none"> ● 5月13日：意外と知らない相続の基本的な知識を身につけます。 ● 5月20日：相続発生前にできる準備と対策を学びます。 ● 5月27日：相続発生後の手続きについて優先順位を整理して学びます。 	さわべ総合司法書士事務所 代表司法書士 さわべ じゅん 沢部 隼

講座番号	科目	日時	テーマ・講義内容	講師
4	絵本	5月 17 日(日) 10:00～11:30 5月 24 日(日) 10:00～11:30 6月 21 日(日) 10:00～11:30	子どもの発達と絵本 子どもの心の発達は環境との関わりを通して行われます。子どもの心はどのように育つか、また絵本は子どもの発達や親子(大人と子ども)にとって、どのようなものであるかを、講義を通じて一緒に検証していきたいと思います。	武蔵野大学 教育学部 幼児教育学科 准教授 いまふく まさひろ 今福 理博
5	歴史	5月 30 日(土) 10:00～11:30 6月 6 日(土) 10:00～11:30 6月 13 日(土) 14:00～15:30	デモクラシーと国際協調を目指した近代日本 近代日本は対内的にはデモクラシー(政党政治)、対外的には国際協調を基調とした国家づくりを行ってきました。近年の研究では、こうしたデモクラシーと国際協調は従来思っていた以上に強固であったと考えられています。それでは近代日本はいかにしてデモクラシーと国際協調を定着化させようとしたのか、そしてそれはなぜ結果として崩壊してしまったのか。考えてみましょう。	帝京大学文学部 日本文化学科 准教授 わたなべ こうた 渡邊 公太
6	福祉	6月 9 日(火) 14:00～15:30 6月 16 日(火) 14:00～15:30 6月 23 日(火) 14:00～15:30	日本の社会福祉の歴史 一口に「社会福祉」と言っても、各国の文化・習慣や宗教等によってその成り立ちや形成過程は様々です。本講義では、我が国の社会福祉の歴史の特徴を7つに整理してみました。「7つの特徴」を通じて、日本の社会福祉の歴史と一緒に理解していきましょう。	淑徳大学人文学部 人間科学科 教授 ふじもり ゆうすけ 藤森 雄介

講座番号	科目	日時	テーマ・講義内容	講師
7	経済	6月29日(月) 10:00～11:30 7月6日(月) 10:00～11:30 7月13日(月) 10:00～11:30	経済現象と応用経済学 経済学に心理学の考え方を取り入れた行動経済学の講義です。従来の経済学に登場する人間は、コンピューターより賢く合理的なロボットのような存在でした。でも、現実の人間は時に不合理な行動をとります。本講義では、誰もが持つちょっと不合理な心のクセを、実験で明らかにしていきます。ココロがわかると経済も見えてくる！ ●6月29日:ココロの経済学① – 行動経済学って何だろう? ●7月6日:ココロの経済学② – あなたの中のもうひとりの自分 ●7月13日:ココロの経済学③ – ナッジ！世の中をステキにする仕掛け	大東文化大学 経済学部 現代経済学科 講師 おかだ ともひさ 岡田 知久
8	社会	7月2日(木) 14:00～15:30 7月9日(木) 14:00～15:30 7月16日(木) 14:00～15:30	現代の日本における社会問題を理解しよう 状態と活動の両方の視点から社会問題を理解したうえで、「児童虐待」「いじめ」「ワーキングプア」「介護難民」「孤独・孤立」「自殺」といった現代の日本における社会問題の関連性や背景を確認し、社会問題の解決に向けた方向性を考えましょう。 ●7月2日:社会問題とは何か。事例をもとに状態から理解しましょう。 ●7月9日:社会問題とは何か。事例をもとに活動から理解しましょう。 ●7月16日:社会問題の関連性を理解し、解決に向けた方向性を考えましょう。	法政大学 現代福祉学部福祉 コミュニティ学科 教授 こうら あさこ 高良 麻子
9	芸術	7月11日(土) 14:00～15:30 7月18日(土) 14:00～15:30 7月25日(土) 14:00～15:30	日本の妖怪文化を読み解く 日本各地に伝えられてきた妖怪は、単に怖がられてきた迷信だというわけではなく、暮らしや感情、自然環境の在り方を映すものです。本講座では、口頭伝承やメディア資料を使用しながら、妖怪がどのように生まれ、語られ、現代に受け継がれているのかを考えていきます。 ●7月11日:そもそも妖怪とは何なのか、見ていきます。 ●7月18日:メディアに現れる妖怪の多彩さを知ります。 ●7月25日:現代も生きる妖怪について探ります。	大東文化大学 文学部 日本文学科 助教 ひろた りょうへい 廣田 龍平

«後期について»

後期は、10月～2月の間に9講座を実施する予定です。

・後期の科目（予定）

音楽、哲学、板橋学、健康、心理学、建築学、地理、天文学、科学

令和8年度 板橋グリーンカレッジ大学院

文化文学コース 年間予定表

1 テーマ:

「哲学を Pratique [実践] する～西洋哲学の森へ：探究と演習～」

「哲学とは何か？」という疑問からこの講座は始まります。この世界の閉塞感の中で、生きる意味を模索していくこの「探究と演習」では、「哲学すること」の大切さを実践していきます。西洋哲学の壮大な背景と大哲学者たちの数々の著書に立ち向かっていきます。日常の中にある哲学的なテーマを設定して、Thématique(主題別)講義として、哲学者の生涯と著作をわかりやすく具体例として取り上げ、その言説を読みながら、「哲学する」時間(講義+事例研究)を過ごしましょう！私は“哲学へのナビゲーター”役として、講義と演習を展開していきます。

2 日 時:

原則として、5月～7月は各回金曜日、9月～1月は各回水曜日

10時から11時30分まで ※最終回 10時から12時まで(2時間)

3 場 所:

グリーンカレッジホール(志村3-32-6)3階 教室2 ほか

4 講 師:

武蔵野大学 名誉教授 久富 健 先生

5 日程・内容

① 5月 15日	オリエンテーション	オリエンテーション 「探究と演習」の全体説明／受講者全員の自己紹介／入門講義・資料配布
② 5月 29日	講義①	講義テーマ：Thématique(主題別)講義①「哲学すること」+「人間とは」 Document[資料プリント]を精読、テーマ「人間」の講義・演習を展開します。
③ 6月 12日	講義②	講義テーマ：Thématique(主題別)講義②「生きること・死ぬこと」 Document[資料プリント]を精読、テーマ「生と死」の講義・演習を展開します。
④ 6月 26日	講義③	講義テーマ：Thématique(主題別)講義③「自由ということ」 Document[資料プリント]を精読、テーマ「自由」の講義・演習を展開します。
⑤ 7月 10日	講義④	講義テーマ：Thématique(主題別)講義④「愛するということ」 Document[資料プリント]を精読、テーマ「愛」の講義・演習を展開します。
⑥ 7月 24日	講義⑤	講義テーマ：Thématique(主題別)講義⑤「幸福とは」 各自の哲学的研究テーマの決定。テーマ「幸福」の講義・演習を展開します。
⑦ 9月 30日	講義⑥・ 研究①	講義テーマ：Thématique(主題別)講義⑥「道徳・倫理」 個人研究・グループ研究・Document+テーマ「道徳」の講義・演習。
⑧ 10月 14日	講義⑦・ 研究②	講義テーマ：Thématique(主題別)講義⑦「政治・社会」 個人研究・グループ研究・Document+テーマ「政治」の講義・演習。
⑨ 10月 28日	講義⑧・ 研究③	講義テーマ：Thématique(主題別)講義⑧「叡智・認識」 個人研究・グループ研究・Document+テーマ「叡智」の講義・演習。
⑩ 11月 11日	研究④	個人研究・グループ研究・「研究テーマ」のレジュメ作成 Thématique (主題別) 講義・まとめと発展
⑪ 12月 16日	リハーサル	卒業研究発表会の練習 卒業研究発表会のリハーサルと Thématique 補足講義
⑫ 1月 20日	卒業研究 発表会①	卒業研究発表会① 個人・グループごとの成果発表、卒業レポート提出
⑬ 1月 27日	卒業研究 発表会②	卒業研究発表会② 個人・グループごとの成果発表と講師による講評、卒業レポート提出

※やむを得ない事情等により、予定表の日程・内容の一部を変更することがあります。

令和8年度 板橋グリーンカレッジ大学院

社会生活コース 年間予定表

1 テーマ： **「暮らしを見つめる～持続可能な社会づくりを目指して」**

いま、地球規模の問題群が私たちの暮らしを脅かし、さまざまな影響を及ぼしています。このゼミナールでは、暮らしの中にある社会課題や地球規模のつながりを理解し、日々の暮らしの中で私たちは何ができるのかを考えていきます。前半は、絵本や動画を活用して、テーマワークをおこないます。後半は、興味を持つ、調べる、まとめ、伝えるという学びのサイクルを通して、持続可能な社会を考えていきます。

2 日 時： 原則として、各回 火曜日 14時から 15時30分 まで

※最終回 14時から16時まで(2時間)

3 場 所： グリーンカレッジホール(志村3-32-6)3階 教室2 ほか

4 講 師： 東京家政大学 社会デザイン学環 教授 尾崎 司 先生

5 日程・内容

⑦ 5月 12日	オリエンテーション	オリエンテーション 全体の説明／受講者全員の自己紹介
② 5月 26日	講義①	講義テーマ：「水」 私たちの生活に身近な「水」をめぐる様々な問題について考えます。
③ 6月 16日	講義②	講義テーマ：「食」 生き物を食べること、食品の安全性、食の多様性について考えます。
④ 6月 30日	講義③	講義テーマ：「モノ」 生産から廃棄のプロセスを考え、これからモノとどう付き合っていくのかを考えます。
⑤ 7月 7日	講義④	講義テーマ：「メディア」 メディアを読み解き活用する能力（メディアリテラシー）について考えます。
⑥ 7月 21日	講義⑤	講義テーマ：「市民」 社会課題解決を模索し行動を起こしていく「市民性」について考えます。
⑦ 9月 15日	研究・学習①	個人研究・グループ研究 グループ(個人)毎に研究テーマを発表/今後のスケジュール確認
⑧ 10月 13日	研究・学習②	個人研究・グループ研究 研究の進捗状況をグループ(個人)毎に発表、コメント
⑨ 10月 27日	研究・学習③	個人研究・グループ研究 研究の進捗状況をグループ(個人)毎に発表、コメント、卒業レポートの書き方
⑩ 11月 24日	研究・学習④	個人研究・グループ研究 発表会レジュメ提出
⑪ 12月 15日	リハーサル	卒業研究発表会の練習 卒業研究発表会のリハーサルと補足講義
⑫ 1月 12日	卒業研究発表会①	卒業研究発表会① 個人・グループごとの成果発表、卒業レポート提出
⑬ 1月 26日	卒業研究発表会②	卒業研究発表会② 個人・グループごとの成果発表と講師による講評、卒業レポート提出

※やむを得ない事情等により、予定表の日程・内容の一部を変更することがあります。

令和8年度 板橋グリーンカレッジ大学院

健康福祉コース 年間予定表

1 テーマ:

「つながりと健康格差」

人間は“社会的動物”と呼ばれます。普段気にすることは少ないですが、私たちは様々なつながりの中に生きています。このつながりの多寡や質は、健康に強く影響することが分かっています。本講義では、現代における健康課題(特に高齢期における健康課題)、およびそれらとつながりとの関係を理解した上で、つながりのあり方について考えていきたいと思います。

2 日 時: 原則として、各回 木曜日 10時から 11時 30分 まで

※最終回 10時から 12時まで(2時間)

3 場 所: グリーンカレッジホール(志村3-32-6)3階 教室2 ほか

4 講 師: 東京都健康長寿医療センター研究所 研究副部長 村山 洋史 先生

5 日程・内容

⑧ 5月 14日	オリエンテーション	オリエンテーション 全体の説明／受講者全員の自己紹介
⑨ 5月 21日	講義①	講義テーマ：高齢期の健康課題と対策について知る 高齢期特有の健康課題であるフレイルについての概要を理解しましょう。また、健康づくりの理論や介入方法について理解しましょう。
⑩ 6月 4日	講義②	講義テーマ：私たちが持つつながりを知る 私たちが何気なく持っているつながりや住んでいる地域のつながりは健康に大きく影響しています。エビデンスをもとに、そのメカニズムを理解しましょう。
⑪ 6月 18日	講義③	講義テーマ：社会的孤立・孤独の現状を知る 孤立や孤独はコロナ禍で注目されるようになった事象の一つです。孤立や孤独について、その違いや対策について理解しましょう。
⑫ 7月 16日	講義④	講義テーマ：これまでのおさらいと研究テーマ決め 講義内容をもとに、各自が取り組みたいことを決めましょう。
⑬ 7月 30日	研究・学習①	個人研究・グループ研究 進歩を共有し、意見交換を行いましょう。
⑭ 9月 10日	研究・学習②	個人研究・グループ研究 進歩を共有し、意見交換を行いましょう。
⑮ 10月 15日	研究・学習③	個人研究・グループ研究 進歩を共有し、意見交換を行いましょう。
⑯ 11月 19日	研究・学習④	個人研究・グループ研究 進歩を共有し、意見交換を行いましょう。
⑰ 12月 3日	研究・学習⑤	個人研究・グループ研究 発表会レジュメ提出
⑱ 12月 17日	リハーサル	卒業研究発表会の練習 卒業研究発表会のリハーサルと補足講義
⑲ 1月 14日	卒業研究発表会①	卒業研究発表会① 個人・グループごとの成果発表、卒業レポート提出
⑳ 1月 21日	卒業研究発表会②	卒業研究発表会② 個人・グループごとの成果発表と講師による講評、卒業レポート提出

※やむを得ない事情等により、予定表の日程・内容の一部を変更することがあります。

板橋グリーンカレッジ運営要綱

(令和4年3月30日教育長決定)

(目的)

第1条 この要綱は、区民等の多様化・高度化する学習要求に応えるとともに、地域社会における活動を促進するために設立する板橋グリーンカレッジの運営について、必要な事項を定めることを目的とする。

(構成等)

第2条 板橋グリーンカレッジ(以下「カレッジ」という。)は、大学校及び大学院で構成し、原則として、グリーンカレッジホール(東京都板橋区志村三丁目32番6号)内において開講する。

(組織)

第3条 カレッジには、これを総理する学長を置くとともに、運営に伴う各種事務を行う事務局及び事務局長並びに板橋グリーンカレッジOB会を置く。

2 学長は、板橋区長とする。

3 事務局は、教育委員会事務局生涯学習課に置き、事務局長は地域教育力担当部長の職にある者をもって充てる。

4 板橋グリーンカレッジOB会は、大学校及び大学院の卒業生で組織し、カレッジの運営に協力する。

(運営)

第4条 事務局長はカレッジの運営を、板橋グリーンカレッジ運営協議会運営要綱(令和4年4月30日決定)第1条により設置する板橋グリーンカレッジ運営協議会において協議の上、承認を得て実施する。

(入学資格者)

第5条 大学校の入学資格者は、区内に在住、在学又は勤務する者とする。

2 大学院の入学資格者は、大学校卒業者または大学院修了者とする。

(入学定員及び実施要領)

第6条 カレッジの入学定員及び年間カリキュラムは板橋グリーンカレッジ運営協議会運営要綱第2条に基づく協議により毎年度、別に定める。

(入学者の募集及び決定)

第7条 大学校・大学院は、第5条第1項及び第2項に規定する入学資格者を公募する。

2 前項の公募において、応募者数が定員を超えるときは、大学校においては入学する者を優先し、大学院においてはコース毎に入学する者を優先し、受講生として決定する。ただし、優先すべき応募者数が定員を超えるときは、当該応募者から抽選により受講生を決定する。

3 前項の規定による入学決定後において、なお欠員を生じている場合は、前項の規定に従い、残りの応募者から受講生を決定する。

(修学年限)

第8条 大学校の修学年限は2年とし、大学院の修学年限は1年とする。

(聴講生)

第9条 前条の規定にかかわらず、大学校の卒業生のうち、継続学習を希望する者にあっては大学校の2年目のコースの講義を、大学院の卒業者のうち、継続学習を希望する者にあっては、大学校の2年目のコースの講義または大学院の講義を聴講することができる。ただし、教室の定員から専門課程受講生の人数を引いた数を聴講生の定員とし、当該定員を超える場合には、抽選により決定するものとする。

(受講料等)

第10条 カレッジの受講生及び聴講生は、実施要領に定める受講料を負担する。

2 前項に規定するもののほか、特別な教材、実習等に係る実費については、別途受講生が負担するものとする。

(補則)

第11条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は地域教育力担当部長が別に定める。

付 則

この要綱は、教育長決定の日から施行し、令和4年4月1日より適用する。

付 則（令和6年1月30日教育長決定）

- 1 この要綱は、令和6年4月1日から施行する。ただし、次項の規定は、教育長決定の日から施行する。
- 2 この要綱を施行するために必要な準備行為は、この要綱の施行前においても行うことができる。

付 則（令和7年1月24日教育長決定）

- 1 この要綱は、令和7年1月24日から施行する。ただし、次項の規定は、教育長決定の日から施行する。
- 2 この要綱を施行するために必要な準備行為は、この要綱の施行前においても行うことができる。

令和 7 年度板橋グリーンカレッジ大学校・大学院実施要領

(令和 7 年 1 月 15 日地域教育力担当部長決定)

板橋グリーンカレッジ運営要綱第 6 条に基づき、令和 7 年度板橋グリーンカレッジ大学校（以下「大学校」という。）及び板橋グリーンカレッジ大学院（以下「大学院」という。）について以下のとおり実施する。

（入学資格者）

第 1 条 大学校の入学資格者は、次の各号のすべてに該当する者とする。

（1）区内に在住、在学又は勤務する者

（2）大学校卒業者または大学院修了者

2 大学院の入学資格者は、大学校卒業者または大学院修了者とする。

（入学定員）

第 2 条 入学定員は以下のとおりとする。

1 大学校 1 年生 300 名

2 大学校 2 年生 400 名

3 大学院 90 名（文化文学・社会生活・健康福祉 3 コース各 30 名）

（コース）

第 3 条 コースは以下のとおりとする。

1 大学校 1 年生

（1）1 科目全 1 回講座とする。

（2）全 23 科目から 18 科目を選択して受講する。

（3）講義受講回数は、全 18 回とする。

2 大学校 2 年生

（1）1 科目全 3 回講座とする。

（2）全 18 科目から 6 科目を選択して受講する。

（3）講義受講回数は、全 18 回とする。

3 大学院

（1）文化文学・社会生活・健康福祉の 3 コースから 1 コースを選択して受講する。

（2）講義受講回数は、全 13 回とする。

（申込）

第 4 条 申込期間は、令和 7 年 1 月 18 日から令和 7 年 2 月 14 日までとする。

(申込方法)

第5条 大学校は、区立グリーンカレッジホールホームページ上の電子申請または、同施設への専用履修届の郵送申請とする。

2 大学院は、区立グリーンカレッジホールホームページ上の電子申請または往復ハガキでの申請とする。

(受講者の決定)

第6条 令和7年3月中に申込者宛てに当落通知を送付する。

(受講料)

第7条 受講料は、年間5,000円とする。

付 則

この実施要領は、地域教育力担当部長決定の日から施行する。

板橋グリーンカレッジ運営協議会運営要綱

(令和 4 年 3 月 30 日教育長決定)

(設置)

第 1 条 板橋グリーンカレッジ大学校・板橋グリーンカレッジ大学院の事業の円滑な運営を図るため、板橋グリーンカレッジ運営協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(協議事項)

第 2 条 協議会は、板橋グリーンカレッジ大学校・板橋グリーンカレッジ大学院に関する次の各号に掲げる事項について協議するものとする。

- (1) 年間カリキュラム
- (2) 講師選定
- (3) その他運営に関すること。

(構成)

第 3 条 協議会は、次の各号に掲げる者につき、教育委員会が委嘱又は任命する総数 10 名以下の委員をもって構成する。

- (1) 板橋区内の大学関係者
- (2) 学識経験者
- (3) 区民の代表
- (4) 板橋グリーンカレッジ O B 会の代表者
- (5) 区職員

(任期)

第 4 条 協議会の委員の任期は、2 年とする。ただし、再選を妨げない。

2 委員が欠けたときは、その後任者の任期は、前任者の任期の残存期間とする。

(議長及び副議長)

第 5 条 協議会に議長及び副議長を置く。

- 2 議長は、委員の互選により選出し、副議長は議長が指名する。
- 3 議長は、協議会の会務を統括する。
- 4 副議長は、議長を補佐し、議長に事故あるとき又は議長が欠けたときは、その職務を代行する。

(会議)

第 6 条 協議会は、議長が招集する。

- 2 協議会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。
- 3 議長は、必要に応じて関係者の出席を求め、意見を聴取することができる。

(開催)

第 7 条 協議会の開催は、年 2 回とする。ただし、必要があるときは、臨時に開催すること

ができる。

(報酬)

第8条 協議会の委員の報酬の額は、予算の範囲内で別途定める額とする。

(事務局)

第9条 協議会の事務局は、教育委員会事務局生涯学習課に置く。

(補則)

第10条 この要綱で定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、地域教育力担当部長が定める。

付 則

この要綱は、教育長決定の日から施行する。

付 則（令和6年1月30日教育長決定）

この要綱は、令和6年4月1日から施行する。